

7. 点検評価と課題

2022年度より James M. Lisny 教授（イリノイ大学）と北川 進教授（京都大学）に研究顧問に就任頂いた。2022年5月開催の IMS Presentations 2022 に Web 参加頂き、所全体の研究評価、研究体制についての提言をいただいた。

2023年3月には、新型コロナウイルスによる感染者の大幅な減少を受けて、ハイデルベルグ大学の Matthias Weidem 教授に来所頂き、光分子科学研究領域を中心ヒアリングが実施され、各グループの研究内容と極端紫外光研究施設（UVSOR）の評価をいただいた。同じく2023年3月に、マンチェスター大学 David A. Leigh 教授が来所し、生命・錯体分子科学研究領域を中心にヒアリングが実施され、各グループの研究内容の評価をいただいた。

2023年2月に Web で開催された運営顧問会議では2022年度に実施した特任教員などの新たな雇用制度等、就任1年目の運営上の課題について議論頂いた。

（渡辺芳人）